

# 令和2年度事業報告書

## 目次

第1	会務・組織運営	…	1
第2	地域福祉推進事業	…	3
第3	ボランティア推進事業	…	12
第4	補助事業	…	16
第5	指定管理事業及び受託事業	…	17
第6	令和2年度会員状況	…	20
第7	羽咋市在宅総合サービスステーション	…	20
第8	石川県共同募金会羽咋市委員会	…	23

## 社会福祉法人羽咋市社会福祉協議会

〒925-8506 石川県羽咋市鶴多町亀田17番地  
電話 (0767) 22-6231 FAX (0767) 22-6189  
URL : <http://www.hakuisyakyo.jp/> E-mail : [h.shakyo@titan.ocn.ne.jp](mailto:h.shakyo@titan.ocn.ne.jp)

## 第1 会務・組織運営

### 1 理事会

理事会を次のとおり開催し、各案件について決議並びに報告が行なわれた。

#### (1) 第1回理事会 書面決議

- |      |   |
|------|---|
| 議決事項 | ①令和元年度事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の承認について<br>②欠員に伴う評議員候補者の推薦について<br>③評議員選任・解任委員会の開催について<br>④欠員に伴う理事候補者の推薦について<br>⑤評議員会の開催について |
| 報告事項 | ①令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算（第3次）及び公益事業会計収支補正予算（第2次）専決処分の報告について<br>②会員の募集について   |

#### (2) 第2回理事会 令和3年3月12日（金）

- |      |   |
|------|---|
| 出席   | 理事 10人、監事 2人  |
| 議決事項 | ①令和3年度事業計画（案）について<br>②令和3年度社会福祉事業会計収支予算（案）について<br>③令和3年度公益事業会計収支予算（案）について<br>④欠員に伴う評議員候補者の推薦について<br>⑤評議員選任・解任委員会の開催について<br>⑥評議員会の招集について |
| 報告事項 | ①令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）及び公益事業会計収支補正予算（第1次）専決処分の報告について   |

### 2 評議員会

評議員会を次のとおり開催し、各案件について決議並びに報告が行われた。

#### (1) 第1回評議員会 書面決議

- |      |   |
|------|---|
| 議決事項 | ①令和元年度事業報告、財産目録、貸借対照表及び収支計算書の承認について<br>②欠員に伴う理事の選任について                                    |
| 報告事項 | ①欠員に伴う評議員の就任について<br>②令和元年度社会福祉事業会計収支補正予算（第3次）及び公益事業会計収支補正予算（第2次）専決処分の報告について<br>③会員の募集について |

#### (2) 第2回評議員会 令和3年3月26日（金）

- |      |   |
|------|---|
| 議決事項 | ①令和3年度事業計画（案）について<br>②令和3年度社会福祉事業会計収支予算（案）について<br>③令和3年度公益事業会計収支予算（案）について |
|------|---|

- 報告事項 ①欠員に伴う評議員の就任について  
 ②令和2年度社会福祉事業会計収支補正予算（第1次）及び公益事業会計収支補正予算（第1次）専決処分の報告について

### 3 評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会を2回書面決議により開催し、評議員の選任を行った。

### 4 監事会

監事会を令和2年5月21日に開催し、監事は令和元年度における理事の職務執行の状況及び財産の状況について監査を行った。

### 5 第三者委員会

本会への苦情等への対応に透明性を図るため、第三者委員を2名委嘱した。

### 6 安全衛生管理

新型コロナ感染拡大予防のため、健康管理の配慮を部署ごとに注意深く行った。また、感染拡大予防のための基準を衛生委員会で策定し管理するとともに、集団による研修会は中止とした。健康相談については産業医の医院における個別健康相談とした。

研修日	内 容	講 師	参加人数
11月30日	個別健康相談	前川産業医	15人
3月3日	新型コロナウイルスについて	瑠璃光薬局志雄店 薬剤師	

### 7 研修会

職員の資質向上のため内部研修を行った。

研修日	内 容	講 師	参加人数
8月7・12日	個人情報保護法について	松田常務理事	52人

### 8 視察・研修受入

受入団体	内 容	受入期間	参加人数
県立看護大学	在宅看護学実習（地域福祉）	中止	
独立行政法人国際協力機構（JICA）	日系研修員実習（地域福祉、介護予防）オンライン	5日	8人
羽咋中学校	わく・ワーク体験事業（羽咋放課後児童クラブ）	中止	

## 9 総合相談

さまざまな相談に本会職員が対応し、情報提供や関係機関との連携、そして必要があれば訪問した。時間外は職員が携帯電話を持ち、24時間365日対応した。

[相談員]	社協専門職員	
[相談件数]	地域福祉相談	356件（時間外19件含む）
	ボランティア相談	55件（時間外2件含む）
	在宅支援	203件
		総計：614件【令和元年度709件】

## 10 情報公開推進事業

- (1) 「社会福祉協議会だより」 7月・1月・3月発行、全戸配布
- (2) ホームページ更新

## 第2 地域福祉推進事業

住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らせる共に支え合う地域社会づくりを目指し、地域住民、行政機関、福祉施設との連携を図りながら、地域福祉の一層の発展を図るため、次の事業を行った。

### 1 組織運営（委員15人）

#### (1) 羽咋市地域福祉事業推進会の開催

羽咋市の地域福祉事業を円滑に推進するためには、各町の地域福祉推進チームとの連携が不可欠であり、市民生委員児童委員協議会理事、市地域包括ケア推進室長、本会会長及び常務理事で推進会を設置し、会議を開催した。

会議等	開催日	内容	出席者数
第1回推進会	7月22日	令和元年度事業報告、令和2年度事業計画	15人

#### (2) 地域福祉事業推進会・ボランティア事業推進会全体会議

ボランティア推進事業と共同で行う事業等やお互いの事業の理解を目的とし、地域福祉事業推進会とボランティア事業推進会の全体会議を行った。

会議等	開催日	内容	出席者数
全体会議	3月5日	令和2年度地域福祉推進事業報告 令和2年度ボランティア推進事業報告	18人

### 2 羽咋市社会福祉大会及びはくい福祉まつり開催

#### (1) 第63回羽咋市社会福祉大会（10月21日）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小し、安全面を考慮し、社会福祉の各分野で多年にわたり功労のあった8人と8団体を表彰する式典のみを羽咋市老人福祉センターで開催した。

#### (2) 第28回はくい福祉まつり

6月末に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止を決定した。

### 3 小地域ネットワーク事業（地域福祉推進チーム活動支援）

地域福祉推進チームの活動を支援し、各町の地域福祉推進チームの連携を図るとともに、地域で核となるリーダーを育成し、地域住民による支え合いの体制を構築する。

#### (1) 地域福祉推進チーム研修会等に関すること

##### ①情報提供・連絡事項

コロナ禍のため、連絡事項、情報提供は郵送で行った。

月	内 容
5 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での地域福祉推進チーム助成金活用方法</li> <li>・県社協ボランティア活動機器、備品助成事業</li> </ul>
6 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県社協ボランティア活動機器、備品助成事業締め切り延長</li> <li>・コロナ禍での福祉バス利用</li> <li>・新しい生活様式におけるチェックポイント</li> <li>・熱中症予防、特殊詐欺被害防止のチラシ</li> <li>・介護予防サポーター養成講座案内 等</li> </ul>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域でできる干支の貼り絵</li> <li>・コロナ禍での福祉バス利用、地域サロン情報 等</li> </ul>

##### ②羽咋市・郡ボランティア交流会

羽咋市・志賀町・宝達志水町の協働事業で、今年度は宝達志水町が事務局として実施し、市町のボランティアの交流する機会ともなった。

開催日	内 容	参加人数
10月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 「移動スーパーとくし丸～地域を巻き込む力～」 講師：アルピス株式会社 古澤 孝行氏</li> </ul>	29人 (内 羽咋市 13人)

##### ③地域福祉推進チーム代表者会議

今年度の活動報告、助成金についての事務連絡や情報の伝達、研修会を行った。

開催日	内 容	参加人数
2月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>羽咋市におけるコロナ禍での地域活動 ～パラグアイ日系 ZOOM 研修での紹介映像～ 地域福祉推進チーム情報報告書、申請書等の事務連絡</li> </ul>	56人

##### ④地域サロン見学・体験会

介護予防サポーター養成講座の体験場所として、他町のサロン等の見学会を調整した。他の団体で行っている内容を体験してもらうことや、団体間の交流を深めるきっかけにもなった。

開催日	サロン名・団体名	人数
3月8日	川原町なかよし会	1人
3月10日	東部いきいき体操教室	3人
3月17日	鹿島路はつらつ体操教室	1人

## (2) 助成の支援に関すること

### ①地域福祉推進チーム活動助成（共同募金助成事業）

地域福祉推進チームで見守り支援活動、学習会や懇談会の開催などの地域福祉活動推進のため、またサロン活動費の一部に役立ててもらうため助成を行った。

[地域福祉推進チーム運営費] 63 チーム、2 団体（お達者会、さくらんぼ）

[地域サロン開催費] 同 上

助成金総額：2,000,000 円

【令和元年度】助成金総額：2,327,000 円

### ②ボランティアグループ活動機器・備品等助成事業（石川県社会福祉協議会）

県内で活動するボランティア団体に対して、ボランティア活動振興基金を原資として 1 団体 10 万円を限度に、活動に必要な機材の一部を助成する事業の申請援助を行った。

サロン名	助成額	購入機器
島出町いざなみ会（島出町）	96,000 円	プロジェクター BD プレーヤー
さつき会（東川原町）	92,000 円	4K テレビ DVD プレーヤー
土橋さくら会（土橋町）	78,000 円	タブレット
ホットいのやま（飯山町）	100,000 円	石油ストーブ 和座敷サポートチェア
サロン白鳥（金丸出町）	99,000 円	スカットボールセット
一ノ宮町寄り合い会（一ノ宮町）	100,000 円	液晶テレビ BD プレーヤー
ゆったり千里浜（千里浜町）	89,000 円	ふんわりフロア畳
すみれ会（寺家町）	74,000 円	スクリーン

《助成金総額》：728,000 円

## (3) 出前講座・地域サロン訪問

### ①地域サロン

地域サロンへ体操やレクリエーション、事業の紹介等の出前講座、介護予防サポーター養成講座体験講習等で当会活動の広報と地域サロン活動への充実の支援を行うとともに、取材や訪問で参加者との交流を深めた。

開催日	地域サロン	参加人数
7月20日	福水町元気会（福水町）	20人
8月1日	若部気楽会（若部町）	14人
12月7日	御陵の郷なかよし会（川原町）	15人
12月20日	いっぷくサロンいしのまち（石野町）	20人
12月21日	福水町元気会（福水町）	20人
12月23日	ふれあいサロン眉丈会（千路町）	37人
3月1日	若部気楽会（若部町）	10人

《合計》 7回 5カ所 《参加人数》 136人

【令和元年度】：《合計》 20回 15カ所 《参加人数》 418人

## ②その他の団体

地域サロン以外の団体への訪問や出前講座の実施、介護予防サポーター養成講座体験講習等で、本会活動の広報と活動充実への支援を行った。

開催日	団体名	参加人数
6月26日	四柳長寿会	25人
7月8日	千里浜連合老人会	19人
7月16日	上甘田健康教室	14人
7月29日	ひだまりの家いのすけ	25人
11月11日	千里浜連合老人会	19人
11月24日	柴垣はつらつ体操教室	9人
12月8日	柴垣はつらつ体操教室	9人
12月23日	千路町なごやかカフェ	37人
3月8日	川原町なかよし会	15人
3月10日	東部いきいき教室	20人
3月17日	鹿島路はつらつ体操教室	20人

《合計》：9か所11回《参加人数》212人

【令和元年度】《合計》：7か所9回《参加人数》283人

## (4) 「町の趣味人(しゅみびと)」の更新と充実

地域サロンへのレクリエーションや、手工芸等の趣味や特技を生かして活躍する「町の趣味人」(地域サロンボランティア)の協力を得ながら、サロンの内容の充実を図った。

[本会斡旋数] 19件 【令和元年度】：33件

[登録者数] 25団体 個人23人(新規団体2団体)

## (5) その他講師派遣

地域サロン活動の支援を目的とし、3B体操講師をつないだ。

[本会斡旋数] 3件

## (6) 貸し出し用具の充実

地域サロンで活用できるレクリエーション用品、車いす等の貸し出しを行った。

[貸出用具数] 115件(サロン用品85件、車いす26件、その他4件)

## 4. 介護予防・地域支え合いの強化

高齢者が要支援・要介護になることを予防し、地域全体で高齢者をささえていく。

### (1) 生活支援体制整備事業(受託事業)

地域支え合い推進事業

地域資源の発掘、関係者のネットワークの構築をはじめ、生活支援に係る地区懇談会の開催、協議体の設置・運営などコーディネートを行った。

①【地区懇談会・協議体発足式の開催】

開催日	会議名	参加人数
7月28日	鹿島路地区生活支援協議体発足に係る第2回準備会	13人
7月30日	越路野地区生活支援協議体発足に係る準備会	8人
8月26日	鹿島路地区生活支援協議体発足式	18人
9月24日	越路野地区生活支援協議体発足式	14人
11月20日	栗ノ保地区まちづくり推進協議会	15人
11月25日	余喜地区の支え合いを考える会 1回目	35人
3月15日	栗ノ保地区の支え合いを考える会 1回目	25人
3月22日	余喜地区の支え合いを考える会 2回目	25人

《合計》8回 153人

②【第2層生活支援協議体の活動支援】

協議体名	開催場所	開催回数	参加人数
一ノ宮地区生活支援協議体	一ノ宮公民館	9回	113人
柴垣町生活支援協議体	上甘田公民館	8回	82人
千里浜地区生活支援協議体	千里浜会館	11回	174人
鹿島路地区生活支援協議体	鹿島路ふれあいセンター	3回	50人
越路野地区生活支援協議体	越路野公民館	3回	36人

③【生活支援協議体勉強会】

第1層生活支援協議体のワーキンググループ活動から、第1層・第2層のメンバーを対象に、活動に必要な情報収集と移動支援について学ぶことを目的とした勉強会を開催し、第2層生活支援協議体のメンバーも参加した。

《日時》2月17日（水）13：00～16：00

《会場》コスモアイルはくい 小ホール（ロトンダ）

《内容》全国移動サービスネットワーク

移動サービス事例報告会（WEB開催）

《参加人数》50人

④【第1層羽咋市生活支援協議体会議の開催】

地域包括ケアシステムを推進するために第2層生活支援協議体メンバーや事業者、ボランティア団体等が課題を共有し、情報交換、協議する場として開催した。

《日時》12月21日（月）13：30～15：00

《会場》コスモアイルはくい 小ホール（ロトンダ）

《内容》①令和元年度活動報告と令和2年度活動計画

②第2層生活支援協議体の活動状況について

③住民主体の介護予防活動に対する補助金制度について

④講義：羽咋市での第1層・第2層生活支援協議体の役割について

公益財団法人 さわやか福祉財団 高橋 望 氏

《参加人数》12人



## (2) 介護予防サポーター養成・登録・斡旋・派遣

介護予防サポーターを養成し、登録を行い、必要とする団体や事業者を紹介した。介護予防サポーターとは、介護予防・地域の支え合いを担っていくことを主な活動目的とする地域ボランティアで養成講座を行った。

### 【サポーター養成講座】

開催日	内容	参加人数
2月17日	養成講座第1回	12人
2月19日	養成講座第2回	9人
3月中	体験講習市内3カ所で開催 鹿島路はつらつ体操 川原町なかよし会 東部いきいき体操教室	5人

【登録者数】 令和2年度登録者 5人 《登録者数合計》: 126人

【依頼件数】 依頼件数 15件 斡旋件数 12件

【斡旋内容】 ○生活支援 ゴミ出し 3件  
掃除機かけ・傾聴 1件  
○その他 ボランティア活動等 8件

【令和元年度】: 《依頼件数》 35件 斡旋件数 26件

## (3) 健康づくり・介護予防のための教室

市民が住み慣れた地域で暮らし続けるための一助となるよう、健康づくり、介護予防を目的とした教室を老人福祉センターを会場に行った。

### ①「おとなの健康教室」

《開催日》 毎月4回（第1,3木曜日 第2,4金曜日）

《開催時間》 11:00～12:00

《実施回数》 35回

《参加人数》 514人

### ②転ばぬ先の「美しい姿勢と脳トレ体操教室」

《開催日》 毎月2回（不定期 火曜日または木曜日）

《開催時間》 10:00～11:00

《実施回数》 18回

《参加人数》 86人

### ③健康ダンス教室

《開催日》 毎月2回（不定期 木曜日）

《開催時間》 10:00～11:00

《実施回数》 19回

《参加人数》 392人

#### (4) 認知症カフェ つるかめ

老人福祉センターを利用する高齢者を中心に軽体操やレクリエーションで心身の活性化を図った。また、健康や生活上の困りごとなどの相談に専門職（看護師）が対応した。

《開催日》 毎月第3木曜日

《開催時間》 10:00～11:30

《実施回数》 10回

《参加人数》 118人 (内 介護予防サポーター8名)

### 5 相談事業

#### (1) 生活困窮者自立支援事業

経済的な理由や精神的理由等で生活が困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる方を対象に幅広く相談を受け、就労やその他の自立に向けて必要な情報提供や助言等の支援を行った。長期的支援・助言が必要な方にはプランを作成し、課題を解決するため関係機関と連携を取りながら支援を行った。

今年度は新型コロナの影響を長期的に受けて生活が困窮している方が多く、生活福祉資金特例貸付制度と連携しながら支援を行った。

特定非営利活動法人フードバンク・ネットに加盟し、新型コロナの影響で生活が困窮している相談者等、支援が必要な方にお渡しした。

《相談件数》 81件 (延べ238件) 【令和元年度】: 9件 (延べ26件)

《プラン作成件数》 9件 【令和元年度】: 1件

#### (2) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯等が資金の貸付と必要な援助指導を受けることによって、自立・安定した生活が送れるようになることを目的とした事業で、民生委員等と連携しながら相談と申込み受付を行った。貸付後、返済の滞っているケースには、連携をとりながら相談援助を行った。

今年度は新型コロナの影響による生活福祉資金の申請が多く、申請の窓口として困窮している方に必要な助言、支援を行った。特例貸付は緊急小口資金、総合支援資金（生活支援費）2種類の福祉資金を申請できる。特例貸付を申請し、確定した相談者は66人であった。

《貸付相談件数》 134件 (延べ226件) 【令和元年度】: 17件 (延べ22件)

《貸付決定件数》 115件 (66人) 【令和元年度】: 1件

●内訳：緊急小口資金 63件 【内新型コロナ特例 61件】

総合支援資金 36件 【内新型コロナ特例 36件】

総合支援資金再貸付 16件 【内新型コロナ特例 16件】

《貸付金額》 50,770,000円 【令和元年度】: 30,000円

●内訳：緊急小口資金 11,410,000円

総合支援資金 31,110,000円

総合支援資金再貸付 8,250,000円

(3) 福祉サービス利用支援事業（地域福祉権利擁護事業）

判断能力が十分ではない高齢者や障がい者等に、福祉サービスの利用や金銭管理などを通じて日常生活を支援する。専門員 1 名、生活支援員 3 人を配置して事業を実施。

[業務内容] 福祉サービス利用援助、通帳管理や預金出入等の金銭管理 等  
[利用者数] 2 名  
[相談受付件数] 35 件

6 在宅福祉の推進

(1) もしもし電話訪問

一人暮らし高齢者等に、ボランティアが電話での声掛け活動・交流を行った。

[活動日] 毎週水・金曜日の 10 時～12 時  
[実施回数] 91 回  
[対象者数] 19 人 延べ 448 人  
[ボランティア] 19 人 延べ 123 人

(2) 男性のための介護講座(独自事業)

《目的》男性で両親や妻の介護をしている方の交流と情報共有

《場所》老人福祉センター

開催日	内容	人数
7 月 31 日	「羽咋市における男性介護者教室の聞き取り調査結果報告」 報告：羽咋市社会福祉協議会 宮下	8 人
9 月 23 日	「介護者が元気になれる中華料理・食について」 講師：中国料理 開口笑 桜井 氏	5 人
11 月 14 日	「男性介護者オンライン多地域交流会」 主催：石川県男性介護者・家族介護者と支援者の会 「結いねっと」代表 金城大学 彦聖美氏 場所：羽咋市社会福祉協議会 ボランティアルーム	6 人
11 月 16 日	「新型コロナウイルスと治療薬について」 講師：瑠璃光薬局 志雄店 薬剤師 江夏 氏	4 人

(3) お達者会ミニデイ

ボランティアグループ「お達者会」による老人福祉センター利用者を対象とするミニデイサービスで、軽体操やレクリエーション、軽食会等を行った。本会はチラシによる広報や助成金による支援を行った。

[開催日] 毎月第 4 木曜日 10 時～12 時 年間 12 回  
[場所] 老人福祉センター  
[参加人数] 会員数 8 人、参加者延べ 210 人【令和元年度】8 人、延べ 310 人

#### (4) 健康福祉総合相談

在宅支援係 保健師が担当して実施。主たる相談は、自身の健康に関すること（血圧測定希望、疾患の経過に対する助言）であった。

〔開催日〕 2か月毎 11時～14時  
※認知症カフェ「つるかめ」と同日開催の場合 10時～12時  
〔場 所〕 老人福祉センター  
〔相談件数〕 96件

### 7 子育て支援

#### (1) 親子サロン「さくらんぼ」

保育ママ養成講座終了者や元保育士等のボランティアグループによる子育て支援を目的とした自主的なサロン。親子同士による情報交換や交流、リフレッシュの場となっている。当会は助成金等の活動支援と、乳児用紙おむつエンジェル助成券を通じて、会の周知を図った。

〔開催日〕 毎月第3火曜日 10時～12時 年間12回  
〔開催場所〕 老人福祉センター1階  
〔参加者数〕 延べ116組（436人）  
〔令和元年度〕 109組（301人）

### 8 独立行政法人国際協力機構（JICA）日系研修員受入事業

石川県立看護大学、JICA 北陸と協働してオンラインでの実施。今回、パラグアイ日本人会から8名の研修員を受け入れた。平成19年から開始した本事業ではパラグアイ38名、ブラジル3名、ボリビア1名、計42名となった。

県立看護大学は高齢者の生理学や栄養学の講座を映像提供、羽咋市は地域活動の現場を映像提供した。受講後には質疑応答と意見交換を設けて自国の介護や介護予防システムを検討する機会を提供した。

昨年、パラグアイ日本人会連合会創立50周年記念に際しては、連合会から本会へ、事業の協力に対して感謝状が授与された。

《期 間》令和3年1月12日～1月29日

《手 法》遠隔研修（ZOOM youtube）

《内 容》「楽しい地区活動（映像）」

《撮影協力》いっぶくサロンいしのまち、川原町なかよし会、柴垣町はつらつ体操、福水町元気会

### 第3 ボランティア推進事業

誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域住民をはじめ行政機関、福祉施設との連携を図りながらボランティア活動を支援し、また、誰もがいつでも、どこでもボランティア活動に参加しやすい環境づくりを整備するため、次の事業を行った。

#### 1 組織運営（委員13名）

##### (1) 羽咋市ボランティア事業推進會

各ボランティア団体から選出した委員と本會會長及び常務理事で推進會を設置し、會議を開催した。

會議等	開催日	内 容	出席者数
第1回推進會	7月22日	令和元年度事業報告、令和2年度事業計画	12人

##### (2) 地域福祉推進會・ボランティア事業推進會合同會議 （再掲3ページ）

地域福祉推進事業と共同で行う事業について、地域福祉推進會とボランティア事業推進會の合同會議を行った。

#### 2 福祉学習

##### (1) 福祉学習

###### ① 幼児対象「ニコニコ保育」

幼児に対して、地域にはさまざまな人が支え合って生活していることを、ふれあいをとおして知ってもらう。

【令和2年度】：新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止

【令和元年度】：6回《参加保育所(園)幼稚園》8か所、《対象幼児》177人 《延べボランティア数》40人

###### ② 小学生対象「出前！ちびっこボランティアスクール」

障がい当事者の話を聞き、手話体験（聴覚）、点字体験等（視覚）、車いす体験等（肢体）をとおして、ふれあいの中で障がいを理解し、偏見や差別がなくなるよう実施した。

実施日	実施小学校	内容・対象	ボランティア	実施日	実施小学校	内容・対象	ボランティア
7月10日	西北台小学校	聴覚10人	1人	11月4日	余喜小学校	肢体22人	5人
8月18日	西北台小学校	視覚10人	4人	11月5日	余喜小学校	聴覚26人	2人
9月8日	瑞穂小学校	視覚23人	5人	11月10日	粟ノ保小学校	視覚10人	5人
9月14日	粟ノ保小学校	肢体21人	4人	11月10日	粟ノ保小学校	聴覚10人	2人
10月7日	瑞穂小学校	肢体23人	0人	11月17日	呂知小学校	聴覚19人	2人
10月9日	羽咋小学校	肢体65人	7人	11月17日	呂知小学校	視覚22人	7人
10月20日	呂知小学校	肢体21人	4人	1月27日	瑞穂小学校	聴覚23人	3人
10月20日	羽咋小学校	聴・視65人	9人				

合計：《実施校》6校、15回 《参加者数》児童370人 《延べボランティア数》60人

【令和元年度】：《実施校》6校、15回 《参加者数》児童365人 《延べボランティア数》81人

③小学生と福祉施設等の交流プログラム（県社協助成事業）

事前学習を行ったあと福祉施設に行き高齢者と実際にふれあい交流を実施

【事前学習】

開催日	実施小学校	学年	児童数	内容	ボランティア数
10月9日	西北台	4年生	10人	高齢者について、生活用車いす体験	2人

【施設訪問】

開催日	実施小学校	学年	児童数	参加施設	内容
11月19日	西北台	4年生	10人	能登和楽の里	Zoomを利用しオンライン交流 (体操、クイズ、風船バレー対決)

(2) ジュニアボランティア体験事業（県社協助成事業）

①高齢者（おうちの里）と児童の交流（邑知放課後児童クラブ対象）

例年、施設を訪問し交流を行ってきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン交流とした。

高齢者と交流を行うにあたり、事前におうちの里職員を講師に招き「高齢者について」学んだ。



開催日	実施場所	内容	参加人数
8月20日	邑知ふれあいセンター	高齢者について	児童 20人
12月28日	Zoomを使用しオンライン	ラジオ体操、クイズ、玉入れ対決	高齢者 26人 児童 25人

②親子サロン「さくらんぼ」乳幼児・お母さんとの交流

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止

③聴覚障がい者、ボランティアと児童の交流

聴覚障がい者の方を講師に招き耳の聞こえない方のコミュニケーション手段を学び、地域にはいろいろな人がいることを実感し、人として認め合う力をつけるために実施した。



開催日	実施場所	内容	参加人数	ボランティア数
12月25日	羽咋放課後児童クラブ	手話体験	20人	4人

④災害と新型コロナウイルス感染予防・熱中症予防について

（羽咋・瑞穂・邑知放課後児童クラブ対象）

羽咋消防署署員の方に新型コロナウイルスが蔓延している中で災害が起こったとき、マスクを着用して避難することが想定される。その時、熱中症予防や気を付ける点などを教えていただいた。



開催日	実施場所	講師	参加人数
8月 5日	瑞穂放課後児童クラブ	羽咋消防署署員 3人	35人
8月 28日	羽咋放課後児童クラブ	"	27人
8月 31日	邑知放課後児童クラブ	"	19人

### (3) 福祉学習協力ボランティア

出前！ちびっこボランティアスクールボランティア／羽咋市点訳ボランティア「点灯虫」／声のボランティアそよかぜ／中途失明者とボランティアの会「ひだまり」／羽咋市車いす友の会“ゆうゆう”／手話サークル「羽」／手話やまびこ／羽咋要約筆記サークル／個人ボランティア

### (4) 羽咋市福祉協力校(園)育成事業（共同募金助成事業）

社会福祉への理解と関心を高め、社会との共同・連携の精神を養うとともに、幼児・児童を通じて家庭及び地域社会への啓発を図ることを目的に実施した。

福祉協力校：10校 福祉協力園：9か所 計 450,000円助成

## 3 はくい福祉まつりのボランティア支援（羽咋市地域福祉推進事業との連携）

第28回はくい福祉まつり

6月末に、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催中止を決定した。

## 4 ボランティア相談・登録・斡旋

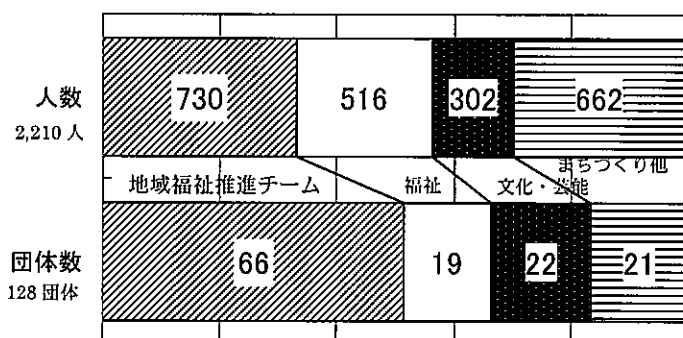
[相談件数] 55件（時間外2件）

[ボランティア斡旋] 斡旋件数 21件、斡旋人数 63人

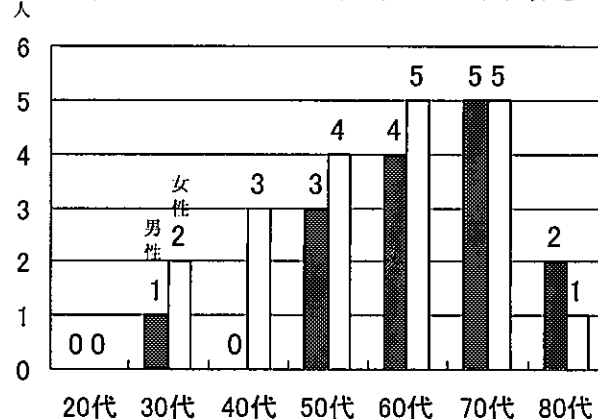
[ボランティア登録者延人数] 延べ2,245人（うち、個人35人）

[登録団体数] 128団体 ※個人ボランティアの登録見直しを年1回実施。

【登録団体数及び登録者の内訳】



【年代別個人ボランティア登録者数】



## 5 収集活動・ボランティア基金の振興

### (1) 収集活動

収集物	数 量	寄贈団体の用途
使用済み切手	11.6 kg	収集家が購入した収益がボランティア団体の活動資金や 発展途上国の援助となる
使用済みプリペイドカード	704 枚	
プルタブ	118.5 kg	福祉施設等への車いす寄贈 → JAM 北陸へ寄付
ベルマーク	104 g	教育機器の購入資金、災害被災地等の教育援助
使用済みインクカートリッジ	38.2 kg	県内の福祉活動の充実 → 県ボランティア活動振興基金へ寄付
書き損じハガキ	428 枚	新品の切手に交換し、地域福祉事業で使用又はボランティア団体に寄付

### (2) ボランティア基金

先進的なボランティア活動を行う団体に対して、ボランティア基金を原資として、1 団体 10 万円を限度に、活動に必要な機材や事業費等の一部を助成する。令和 2 年度は申請なし。

[積立額] 1,232,084 円 (令和 3 年 3 月末現在)

## 6 ボランティア養成講座

- ・実施なし (介護予防サポーター養成講座は 8 ページ記載)

## 7 ボランティアの普及と支援

### (1) ボランティア保険の取扱い

[ボランティア活動保険]	49 件 (加入者数 785 人、34 団体)
[被災地支援にかかる活動保険]	1 件 (加入者数 1 人)
[ボランティア行事用保険]	101 件 (加入者数延べ 7,500 人、19 団体)
[福祉サービス総合補償]	9 件 (羽咋市手話通訳者、要約筆記奉仕員、介護相談員、健康づくり指導員、福祉施設 5 件)
[送迎サービス補償]	2 件 (外出支援サービス、視覚障がい者生活訓練送迎)

### (2) ボランティアセンターの活用

毎週火曜日午後：羽咋市点訳ボランティア「点灯虫」  
 毎週水・金曜日午前：もしもし電話訪問フレンド  
 毎週金曜日午後：声のボランティアそよかぜ  
 そ の 他：ボランティア随時利用

### (3) ボランティア連絡協議会の支援

羽咋市ボランティア連絡協議会の活動紹介や意見交換の場として、自主的な活動の支援を行った。

開催日	内 容	参加人数
11 月 21 日	出前ほんわかワンサカ広場交流 (永光寺見学、散策)	30 人



(4) 機材の貸し出し

車いす、アイマスク、携帯用点字板、高齢者疑似体験セットなどの貸し出しを実施。  
また、小学校に対して、貸し出し可能な図書及びグッズ一覧を資料として配布した。

8 ボランティア活動広域交流 (再掲4ページ)

羽咋市、志賀町、宝達志水町の1市2町でボランティア講演会・交流会を行った。

9 表彰・助成に関する支援

(1) ボランティア表彰

①石川県知事表彰

○千田町・土橋町・滝町・大川町・鹿島路町  
(各地域福祉推進チーム)

②石川県社会福祉協議会会長表彰

○民舞 勝美会  
○若草町・本江町 (各地域福祉推進チーム)

③羽咋市社会福祉大会会長表彰

○大町・粟生町・菅池町・本町・寺境町・尾長出町  
新保町・四柳町 (各地域福祉推進チーム)

(2) ボランティア助成

①石川県社会福祉協議会 (ボランティアグループ活動機器・備品等助成事業)

県内でボランティア活動を行う団体に対して、ボランティア活動振興基金を原資として、1団体10万円を限度に、活動に必要な機材の一部を助成している。以下の団体が助成を受けた。

団体名	内 容	助成金額
長手島クラブ	ホワイトボード、デジタルカメラ	90,000 円

第4 補助事業

1 福祉バスの運行管理 【市補助事業】

福祉関係団体等の福祉活動を対象に、本会会員に対して無料で福祉バスを運行した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日数(日)	0	0	0	2	0	2	6	5	0	0	0	0	15
運行回数(回)	0	0	0	2	0	2	6	5	0	0	0	0	15
市内	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
県内	0	0	0	2	0	1	6	3	0	0	0	0	12
県外	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
走行距離(km)	0	0	0	202	0	258	807	533	0	0	0	0	1,800
運行時間(時間)	0	0	0	14	0	11	37	29	0	0	0	0	91
延べ利用者(人)	0	0	0	21	0	31	73	69	0	0	0	0	194

## 2 外出支援サービス事業 【市補助事業】

日常的に車いすを利用する方を、移動車「友抱号」によって外出支援サービスを行っている。運行時間は、午前8時から午後5時まで、1月1日を除くすべての日に対応した。また、利用料金は市内運行一律600円(往復)とし、市外運行や長時間運行は別途加算もある

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数(回)	26	39	45	50	40	37	51	39	39	43	36	63	508
友抱1号	7	10	11	13	12	14	14	11	15	19	11	29	166
友抱2号	18	29	31	33	28	23	37	27	24	23	25	34	332
友抱3号	1	0	3	4	0	0	0	1	0	1	0	0	10
利用料金(円)	24,300	40,000	51,300	49,400	39,800	43,400	48,200	33,900	37,600	39,900	39,700	62,900	510,400
利用日数(日)	18	27	32	30	27	26	31	25	28	27	26	40	337
運行時間(時間)	41	63	78	79	65	67	72	54	60	64	63	101	807

## 第5 指定管理事業及び受託事業

### 1 羽咋市老人福祉センター管理業務 【市指定管理事業】

コロナウイルス感染症対応として全館休業(4月21日～5月24日)または、利用制限を設けた。利用者には入館時の注意事項の厳守をお願いした。

#### (1) 運営委員会・協力委員会

運営委員会を年1回開催し、事業計画や報告等について話し合った。また、利用者で組織する協力委員会を不定期(年6回に減少)に開催し、事業運営について協議を行った。

#### (2) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数(日)	14	5	22	21	19	20	22	19	19	19	19	23	222
利用人数(人)	872	104	1,364	1,629	1,280	1,353	1,676	1,482	1,495	1,078	1,342	1,450	15,125
男性	492	50	608	774	663	661	771	673	671	504	634	672	7,173
女性	380	54	756	855	617	692	905	809	824	574	708	778	7,952
浴場利用者(人)	498	79	701	667	533	559	655	652	666	577	665	447	6,699
浴場利用料(円)	41,600	6,900	57,200	72,600	41,900	47,100	59,600	55,000	55,600	68,900	57,600	39,600	603,600

#### (3) 主な行事

開館記念祭・寿文化祭・忘年会(中止)、物故者追悼法要、消防避難訓練、奉仕作業、健康ダンス教室、おとなの健康教室、美しい姿勢作りと脳トレ体操教室、翠松会オカリナ・大正琴演奏会、菖蒲湯、ゆず湯、買い物支援 他

#### (4) その他(ギャラリー・趣味の教室)

- 1階にギャラリーを開設、作品展示を8回行った。
- 行事の中止に伴い募金額は減少したが、今年度も募金コーヒーから赤い羽根共同募金へ寄付(4,687円)した。
- 趣味の教室は、カラオケ(2教室)、舞踊、お茶、民謡、書道、囲碁を行った。

(5) 利用者実態調査

令和2年7月14日から7月31日まで実施し、利用者98人の調査を行った。

●利用者の年齢層について

【男性年齢】

年齢	人数	割合 (%)
65歳～69歳	3	11
70歳～74歳	5	18
75歳～79歳	10	35
80歳～84歳	3	11
85歳～89歳	5	18
90歳～91歳	2	7
合計	28	100

【女性年齢】

年齢	人数	割合 (%)
～64歳	1	1
65歳～69歳	11	16
70歳～74歳	12	17
75歳～79歳	17	25
80歳～84歳	12	17
85歳～89歳	10	14
90歳～91歳	6	9
97歳	1	1
合計	70	100

2 放課後児童健全育成事業【市受託事業】

放課後児童クラブは、月曜日から金曜日は放課後から午後7時まで、土曜日・春・夏・冬休みは午前8時から午後7時まで開所した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため国や県による「緊急事態宣言」期間において、羽咋市は5月7日から5月31日まで「家庭保育」の協力依頼を保護者へ通知したことにより、5月の利用料は日割りで計算された。

各クラブは検温・施設消毒・換気・マスクの着用・密を避けるなど感染に注意をはらいながら開所した。

(1) 利用状況

①羽咋放課後児童クラブ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	25	23	26	25	18	20	22	19	24	18	18	23	261
常時保育(人)	31	36	33	34	33	32	32	31	31	31	30	30	384
1年生	12	15	13	14	14	15	15	14	14	14	13	13	166
2年生	9	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	8	104
3年生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
4年生	5	5	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	43
5年生	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一時保育(人)	10	0	0	2	4	0	0	1	3	4	1	6	31
保育料(円)	190,000	51,400	165,000	174,000	251,600	160,000	160,000	158,000	158,000	166,000	152,000	169,000	1,955,000

## ② 邑知放課後児童クラブ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	21	18	22	21	22	24	27	23	20	18	18	23	257
常時保育(人)	23	25	28	26	25	29	28	28	28	28	28	31	327
1年生	5	7	8	7	7	9	9	9	9	9	9	10	98
2年生	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	6	56
3年生	11	11	11	10	9	10	10	10	10	10	10	11	123
4年生	2	2	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	38
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一時保育(人)	10	0	1	0	3	0	0	0	2	2	0	2	20
保育料(円)	145,000	43,400	144,000	130,000	189,600	145,000	140,000	140,000	144,000	146,000	140,000	165,000	1,672,000

## ③ 瑞穂放課後児童クラブ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数(日)	21	18	22	21	18	20	22	19	24	22	22	26	255
常時保育(人)	31	37	35	36	35	34	33	33	34	32	33	34	407
1年生	7	7	6	7	8	9	8	7	8	7	7	7	88
2年生	9	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	144
3年生	7	8	8	7	7	6	6	6	6	6	7	7	81
4年生	7	8	7	8	7	6	6	7	7	6	6	7	82
5年生	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
6年生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一時保育(人)	7	0	1	1	0	0	0	1	1	2	1	1	15
保育料(円)	180,000	46,800	177,000	184,000	238,000	170,000	165,000	166,000	172,000	162,000	168,000	171,000	1,999,800

### (2) 主な行事

「みんなよろしくね」の会、手作りおやつ、絵本の読み聞かせ、クリスマス会、自分の中の鬼を退治しよう、避難訓練、手話体験、施設とリモート交流(ジュニアボランティア体験)、熱中症とコロナウイルス感染症対策(羽咋消防署)、親子卓球ラリー、勝ち抜きジャンケン大会、ありがとうの会 他

### 3 点訳広報発行事業【市受託事業】

視覚障がい者への情報支援を行うため、毎月発行される広報はくいを点字にする事業を、羽咋市点訳ボランティア「点灯虫」の協力を得て実施し、視覚障がい者に提供した。また、いつでも閲覧できるように、令和2年度の点訳広報を図書館に寄贈した。

## 第6 令和2年度会員状況（単位：円）

会員区分	年会費(1口)	会費(円)	備 考
一般会員	300円/世帯	1,626,600	全町会
特別会員	個人1,000円 団体5,000円	227,000	理事、地区民生委員・児童委員、社会福祉施設等
賛助会員		108,200	評議員、地域福祉団体、ボランティア団体、NPO法人、奉仕団体、企業、個人会員等
合 計		1,961,800	【令和元年度】2,271,200円

## 第7 羽咋市在宅総合サービスステーション

羽咋市在宅総合サービスステーションは、平成14年4月に羽咋市から本会に移管され、現在、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、訪問入浴の4つのサービスを行っており、介護等が必要になっても安心して自宅で暮らせるようにサービスを提供している。

### 1 実習の受入

受入団体	内 容	受入のべ日数	受入人数
田鶴浜高校衛生看護科専攻科	訪問看護同行訪問実習	6日	4人
七尾看護専門学校	在宅看護論実習	9日	5人
石川県立看護大学	在宅看護実習	3日	2人

### 2 スタッフ会議及び研修会

定期的にスタッフ会議を開き、内部連携を強化した。また、サービスの向上のため研修会を実施した。下記以外にも事業所ごと実務研修を行っている。

今年度はコロナ禍のため動画を活用し、個人学習などを行った。

研修日	職員全体研修内容	講 師
5月25日～29日、7月29日	感染症について	感染症委員
7月20日	災害時の対応について	防災対策委員
9月14日	リスクマネジメントについて	リスクマネジメント委員
10月14日	救急法について	羽咋消防署職員

### 3 報告会

本年度の開催は見送った。

### 4 リフレッシュ事業

本年度は中止となった。

### 5 活動実績

#### (1) 居宅介護支援事業

在宅で本人や家族が望む生活をしていただくためにその方の生活に合った介護支援計画を作成し、介護にあたる家族等が抱える悩みを受け止め、負担を軽減することに努めている。

①業務内容

居宅サービス計画の作成、利用者家族間の調整、関連機関等との連絡調整、住宅改修意見書作成、情報提供等

②時間外相談・訪問件数 相談 55 件 訪問 3 件

③稼働職員 (令和3年3月末現在)

介護支援専門員(ケアマネージャー) 9人(常勤 8人、非常勤 1人)

④活動実績 実人数 167人 (令和元年度 実人数 167人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(保険)	102	103	105	96	91	94	91	95	93	87	83	92	1,132
利用者(予防)	31	30	30	28	28	26	26	24	25	22	22	21	313

(2) 訪問看護事業

医師の指示書により看護師が訪問し、診療補助と療養を支援するとともに、かかりつけ医と連携して訪問看護を行っている。また、緊急時は24時間の相談受付や訪問を行っている。

①業務内容

医師の指示による診療補助、看護業務、病状観察、家族への介護助言等

②時間外相談・訪問件数 相談 42 件 訪問 39 件

③稼働職員 (令和3年3月末現在)

看護師 8人(常勤 3人、非常勤 5人)

④活動実績

1) 医療保険による訪問看護 実人数 29人 (令和元年度 実人数 22人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	17	16	17	16	16	17	19	15	13	12	12	14	184
日数計	114	122	125	120	113	112	134	122	113	101	87	112	1,375
回数計	116	138	131	136	132	124	146	124	117	117	90	125	1,496

2) 介護保険による訪問看護 実人数 46人 (令和元年度 実人数 47人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(保険)	18	19	20	16	18	14	16	16	17	19	18	21	212
利用者(予防)	11	11	11	10	9	9	8	8	8	7	6	8	106
回数計(保険)	126	170	155	156	149	145	165	148	174	162	141	179	1,870
回数計(予防)	36	28	32	26	23	27	19	19	20	12	13	18	273

(3) 訪問介護事業

ひとり暮らしや寝たきり等の方に、身体の介護や家事の手伝いなどの訪問介護を行っている。また、緊急時等に備えて24時間の相談受付や訪問を行っている。

①業務内容

生活支援サービス…買い物、調理、掃除、洗濯、薬の管理等

身体介護サービス…食事介助、トイレ介助、移動介助、通院介助等

②時間外相談・訪問件数 相談 98 件 訪問 5 件

③稼働職員 (令和3年3月末現在)

訪問介護員 15人(常勤 5人、非常勤 10人)

④活動実績

1) 介護保険による訪問介護 実人数 48人 (令和元年度 実人数 52人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(保険)	31	31	31	29	30	30	28	33	31	32	30	29	365
利用者(給付)	6	8	7	6	6	4	3	3	3	1	2	2	51
回数計(保険)	436	459	474	467	486	437	449	465	479	451	452	458	5,513
回数計(給付)	45	50	50	46	34	36	24	24	20	9	13	18	369

2) 障害者総合支援法による訪問介護

a) 精神障がい者訪問介護 実人数 4人 (令和元年度 実人数 3人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	37
回数計	11	9	14	13	12	15	15	16	17	13	13	17	165

b) 身体障がい者訪問介護 実人数 8人 (令和元年度 実人数 8人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	5	5	7	6	5	6	5	5	5	5	6	5	65
回数計	19	19	19	23	23	34	23	25	28	37	29	25	304

c) 知的障がい者訪問介護 実人数 1人 (令和元年度 実人数 0人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
回数計	0	0	0	0	4	11	12	12	14	12	12	15	92

3) 障害者総合支援法による移動支援介護

視覚障がい者の方を対象とし、移動支援を行った。

①業務内容

ガイドヘルプ(移動介助)・・・通院、買い物、社会参加の際の視覚障がいの方等への移動介助

②稼働職員 (令和3年3月末現在)

ガイドヘルパー 12人(常勤 5人、非常勤 7人)

③活動実績

a) 同行援護 実人数 10人 (令和元年度 実人数 9人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	7	6	8	6	8	7	8	8	8	5	8	7	86
回数計	33	25	42	37	37	35	46	40	41	24	33	38	431

b) 地域生活支援事業(移動介助) 実人数 8人 (令和元年度 実人数 8人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1	1	2	3	3	4	4	2	1	1	1	4	27
回数計	7	3	9	11	11	11	12	14	12	5	5	12	112

(4) 訪問入浴事業

寝たきりや障がいのため自宅の風呂で入浴ができない方へ入浴車で訪れ、入浴介助を行っている。

①業務内容

入浴の支援、病状観察、家族への介護助言等

②稼働職員 (令和3年3月末現在)

看護師 4人(常勤3人、非常勤1人)、訪問介護員 6人(常勤3人、非常勤3人)

③活動実績

1) 介護保険による訪問入浴 実人数 16人 (令和元年度 実人数 15人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者(保険)	8	11	8	10	8	9	8	8	8	9	6	7	100
利用者(予防)	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
回数計(保険)	33	42	39	51	39	47	46	40	32	38	29	37	473
回数計(予防)	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5

2) 介護保険外の訪問入浴(身体障がい者訪問入浴) 実人数 1人 (令和元年度 実人数 1人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
回数計	8	9	9	9	8	9	9	8	10	8	8	9	104

第8 石川県共同募金会羽咋市委員会

1 組織運営

(1) 運営委員会

運営委員会を次のとおり開催し、次の案件の審議及び可決承認並びに報告が行われた。

① 第1回運営委員会 書面決議

- 議決事項 ア 令和元年度事業報告書及び決算の認定について  
イ 欠員に伴う運営委員の選任について

② 第2回運営委員会 令和3年3月12日(金)

- 出席 委員 8人 監事 2人  
議決事項 ア 令和3年度助成計画(案)について

(2) 審査委員会

審査委員会を次のとおり開催し、次の案件の審議及び可決承認並びに報告が行われた。

① 第1回審査委員会 令和3年2月26日(金)

- 出席 委員 6人  
議決事項 ア 令和3年度助成計画(案)について



## 2 監事会

監事会を令和2年5月21日に開催し、監事は令和元年度事業の執行及び会計の決算について監査を行い承認した。

## 3 募金実績

募金方法	一般募金			歳末募金			合計
	件数	実績額	前年度比	件数	実績額	前年度比	
戸別	8,020	2,108,500	▲15,000	8,020	2,165,500	▲1,000	4,274,000
街頭	4	47,215	▲334	—	—	—	47,215
法人	207	535,900	▲26,200	—	—	—	535,900
学校・職域	13	48,980	8,527	—	—	—	48,980
イベント	0	0	▲160,415	—	—	—	0
個人・その他	48	171,399	71,435	—	—	—	171,399
合計	8,292	2,911,994	▲121,987	8,020	2,165,500	▲1,000	5,077,494

## 4 助成事業 助成総額 4,350,782 円

### ① 域福祉推進チーム活動費助成事業 (2,000,000 円)

地域福祉推進チームの見守り活動に対する助成 1 チーム 1 万円、サロンの開催ごとに 1 回 3 千円を活動に応じて助成する事業で、推進チーム 66、その他 2、合計 68 チームに助成した。

### ② 地域福祉活動助成事業（配食） (510,499 円)

地区民生委員協議会等が実施する季節の配食及び会食事業について、1 食 200 円の助成を 7 か所に助成した。



### ③ 高齢者紙おむつゴールド助成券発行事業 (180,000 円)

在宅で紙おむつを必要とする要介護 1 及び 2 の方、157 人に対して 2,000 円の助成券を交付した。

### ④ 乳児紙おむつエンジェル助成券発行事業 (180,000 円)

市に住民票がある生後 1 歳未満の新生児がいる 101 世帯に対して、2,000 円の助成券を交付した。また、申請用紙の提出の際は、相談受付や子育てサロンの情報提供を行った。

### ⑤ 福祉推進事業団体育成事業 (400,000 円)

第 1 号団体 5 団体、第 2 号団体 11 団体に対して活動の助成を行った。



### ⑥ 福祉協力園・福祉協力校助成事業 (450,000 円)

福祉協力校の指定をしている市内保育所・幼稚園 9 か所、小・中・高 10 校に対して活動の助成を行った。

⑦ 安心電池設置事業

(80,000 円)

ひとり暮らし高齢者など見守りが必要な方に懐中電灯を配布し、電池交換等を通して見守り支援を行う安心電池設置事業に助成し、新規 68 世帯を含む 678 世帯を対象に行った。



⑧ 福祉バス管理運営事業

(473,283 円) ※一般会費 80,462 円支出

本会の会員である福祉団体に無償で貸し出ししている福祉バス事業費への助成を行った。

⑨ その他

(77,000 円)

民生委員児童委員協議会研修会への助成を行った。